

# 県協会が災害時協定

## 鹿児島県測量設計業協会と

南海トラフ巨大地震などに備え、県測量設計業協会は三日、鹿児島県測量設計業協会と災害時応援協定を締結した。協定は熊本県測量設計コンサルタント協会に続き二例目。

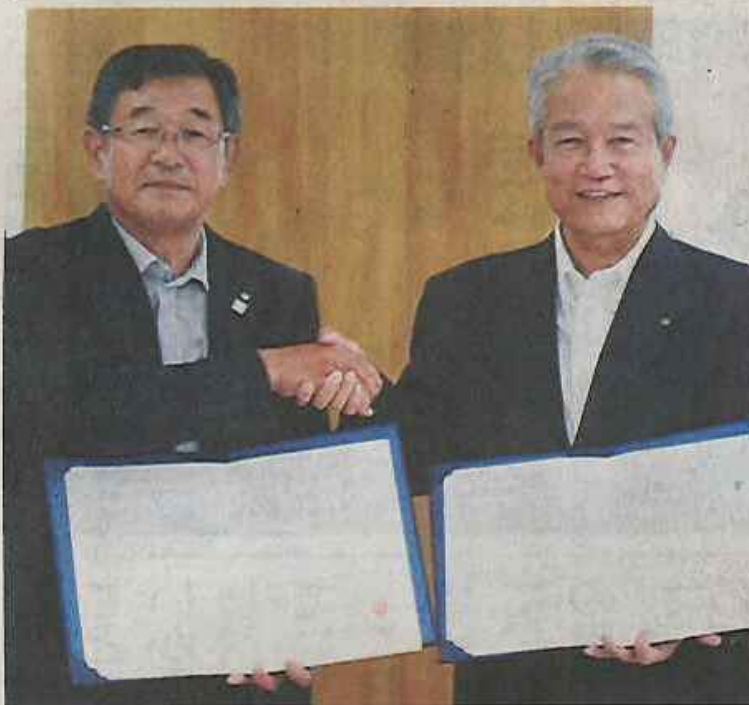
二〇一一年三月の東日本大震災では、測量・設計に携わる技術者が不足し、公共土木施設の復旧が遅れる一因

となった。県測量設計業協会は教訓を生かし、災害時に同時に被災するリスクが少ない遠隔地から人的・物的支援を得られるよう、他協会との協定締結を計画。県同士の災害時相互応援協定があり、飛行機の直行便もある鹿児島県の協会を締結先に選んだ。

県庁であった締結式

では、県協会の杉山博会長が「海に囲まれ、火山もある両県は環境がよく似ている。迅速に応援できるよう、平時から交流に努めてい

た。」とあいさつ。鹿児島県協会の安永幸信会長は「災害対策は準備が大切。安全・安心のため精進する」と話した。（松野穂波）



災害時応援協定を締結した静岡県測量設計業協会の杉山博会長と鹿児島県測量設計業協会の安永幸信会長＝県庁で